

News & Information

2009/3/24

〔 PC-SOD の一般的名称決定に関するお知らせ 〕

当社の開発しております開発コード「PC-SOD」の一般的名称（JAN）が決定いたしましたのでお知らせいたします。

PC-SOD は、当社前会長 水島 裕らの発明により開発されたレシチン修飾ヒト型 SOD 製剤です。本剤はヒト型 Cu, Zn-スーパーオキシドジスムターゼ（SOD）を遺伝子組み換え技術によって製造し、化学的にレシチン誘導体を SOD 2 量体あたり平均 4 分子結合させたレシチン化 SOD です。レシチン化したことにより細胞・組織に対する親和性を向上させ、生体内で強力な薬理作用を発揮させることに成功しました。現在、臨床で有効性が得られている疾患はいずれも難治性疾患である潰瘍性大腸炎と特発性間質性肺炎の 2 疾患ですが、PC-SOD はそのメカニズムから広い適応症が期待されています。

当社は、上記 PC-SOD 開発の一環として、2007 年 11 月より、PC-SOD の一般的名称の申請を行っておりましたが、この度、3 月 13 日に一般的名称として「ミジスマーゼ（遺伝子組換え）」が登録されました。

名前の由来：SOD を示す化合物群の一般的名称を<ジスマーゼ>とといいます。SOD は、天然にヒトの体内に存在する酵素であり、酵素を示す言葉が<マーゼ>です。これらに、レシチン化を表す言葉として、申請の初期には、発明者である水島 裕の名前を一般的名称に残すべく、ミズスマーゼを含む 3 種類の名称で申請いたしましたが、科学性・類似性の検討結果、最終的に「ミジスマーゼ」と決定いたしました。

尚、この度は、PC-SOD 開発の一環として一般的名称の申請を行い決定に至りましたが、PC-SOD（一般的名称：「ミジスマーゼ（遺伝子組換え）」）が医薬品として承認を受けるには、この作業とは独立して、臨床試験で安全性と有効性を更に検討した後、医薬品としての申請を行い、承認を得る必要があります。

今後は、ライセンスを成功させ「難病の患者さんに新しい治療法を提供する」という創業者水島 裕の想いを実現するべく、PC-SOD の医薬品申請を目差して研究開発に邁進してまいりますので、何卒、ご支援を賜れますようお願いいたします。

ご参考：医薬品と一般的名称

医薬品には薬効成分となる化学物質の名前と、INN 規準によって国際的に使用できるとして定められた一般名 (generic name) と、会社の独自性を表し付けられた商品名としての名前がある。この項で解説する一般名とは、製薬企業の経済活動の一環によって名付けられる商品名ではなく、WHO を中心として国際的に通用し用いることのできるように付けられた名称を言う。

しかし国際一般名として名づけられた化学物質であっても、一般名の呼称は国の政策によって採用された呼称が異なる場合がある。日本では、薬事・食品衛生審議会日本薬局方部会の下に医薬品名称調査会が設置され、医薬品名称調査会承認名 (JAN: Japanese Accepted Name) を定めている。新規に医薬品の製造販売承認を申請する場合、この JAN を一般的名称として用いることが求められている。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』一般名 2009.3.24 から引用

※PC-SOD (一般的名称：「ミジスマーゼ (遺伝子組換え)」) に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社L T Tバイオフーマ
研究開発本部 03-5733-7391

当社ホームページ内「創薬」についても是非ご参照ください。

<http://www.ltt.co.jp/souyaku.html>